

全国及び奈良県学力・学習状況調査の 調査結果の活用による指導改善に向けた説明会

中学校 国語

奈良県教育委員会事務局学校教育課
指導主事 川西 聡弘

E-mail:kawanishi-toshihiro@office.pref.nara.lg.jp

全国及び奈良県学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた取組

1. 全国学力・学習状況調査

- 今年度の調査結果について
- **課題及び指導改善のポイント**

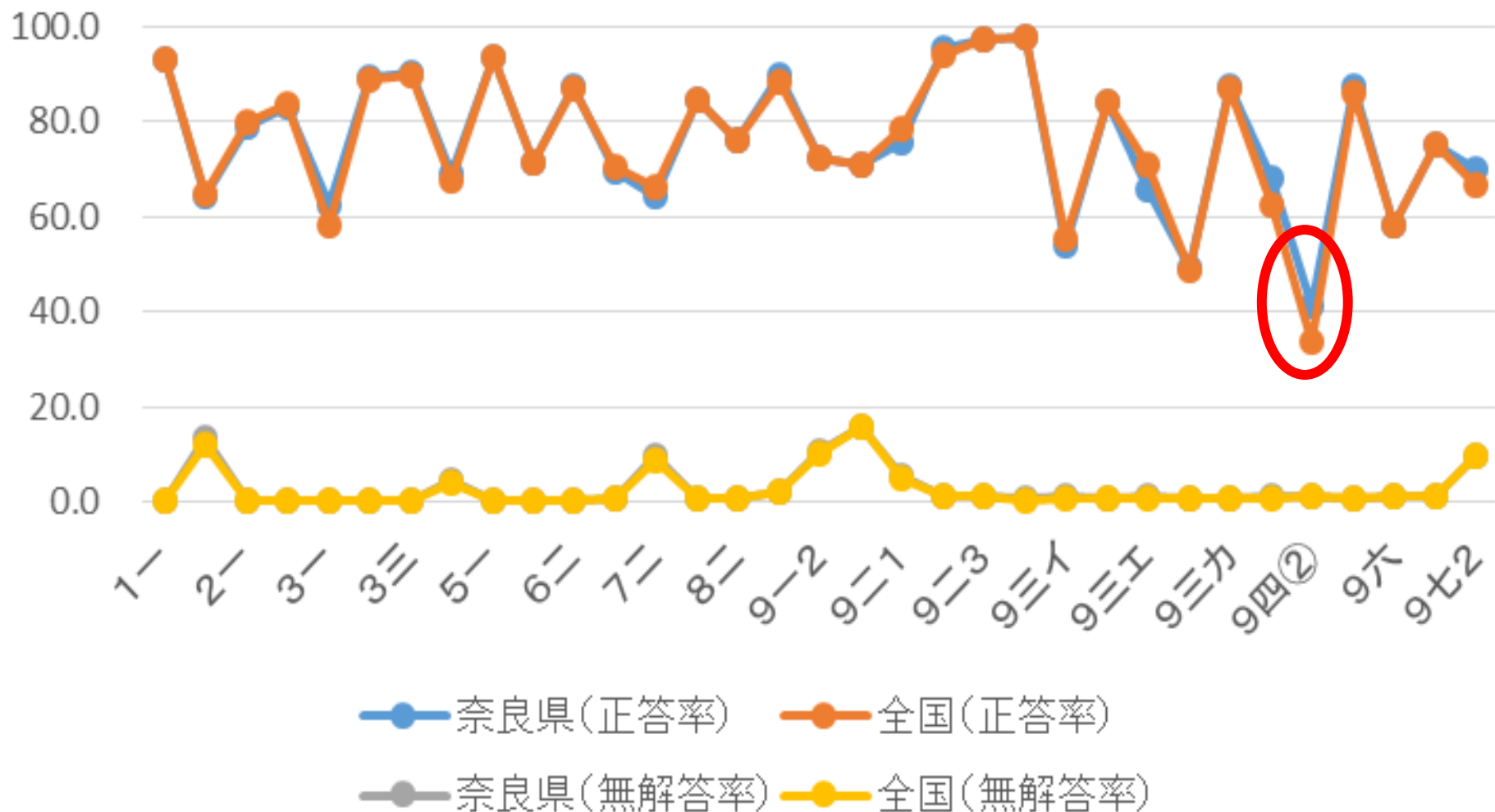
2. 奈良県学力・学習状況調査

- 今年度の調査結果について
- **課題及び指導改善のポイント**

3. 国語科における**今後の授業の在り方**

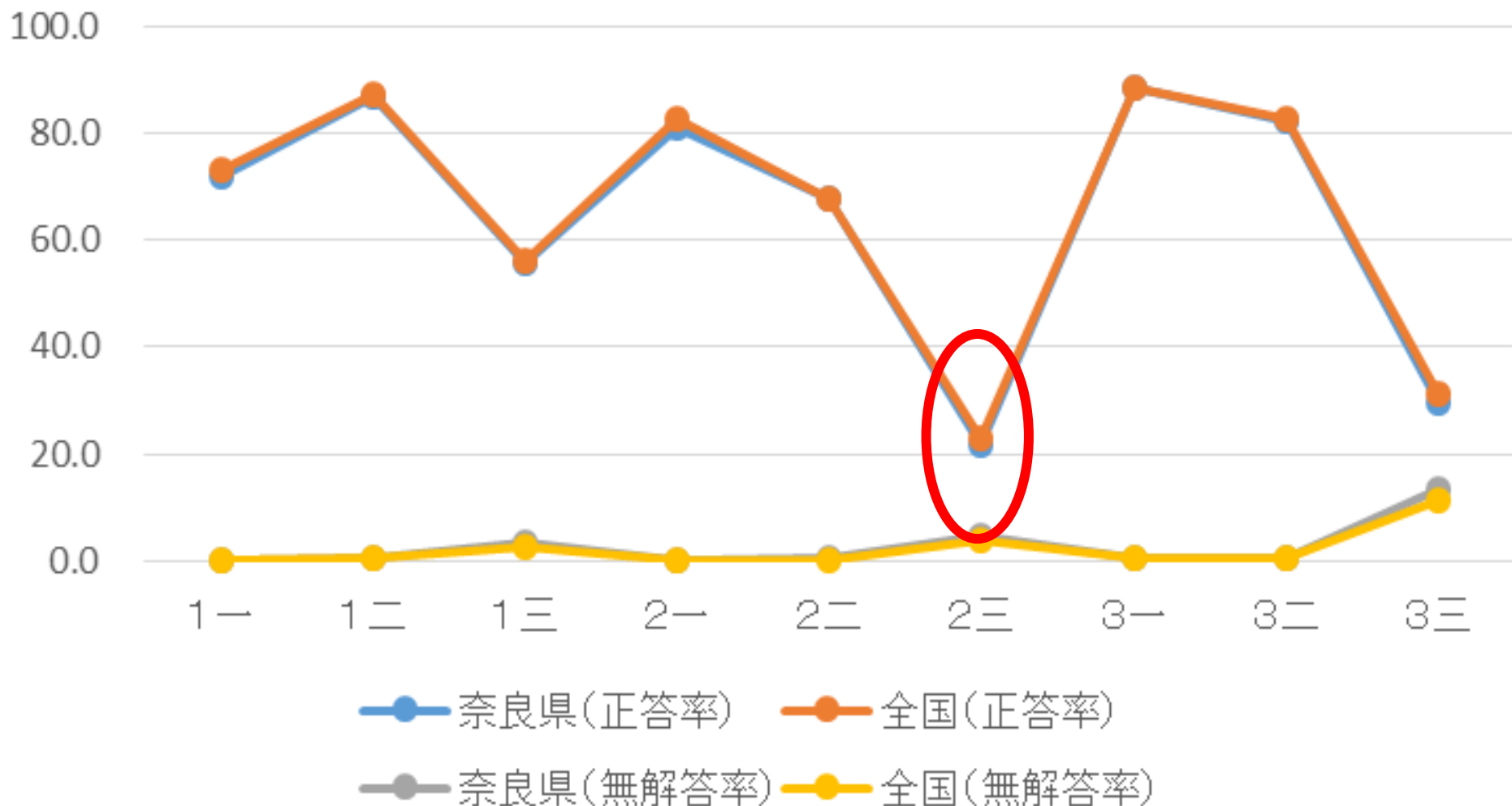
平成27年度全国学力・学習状況調査結果

中学国語A 平均正答率と無解答率



平成27年度全国学力・学習状況調査結果

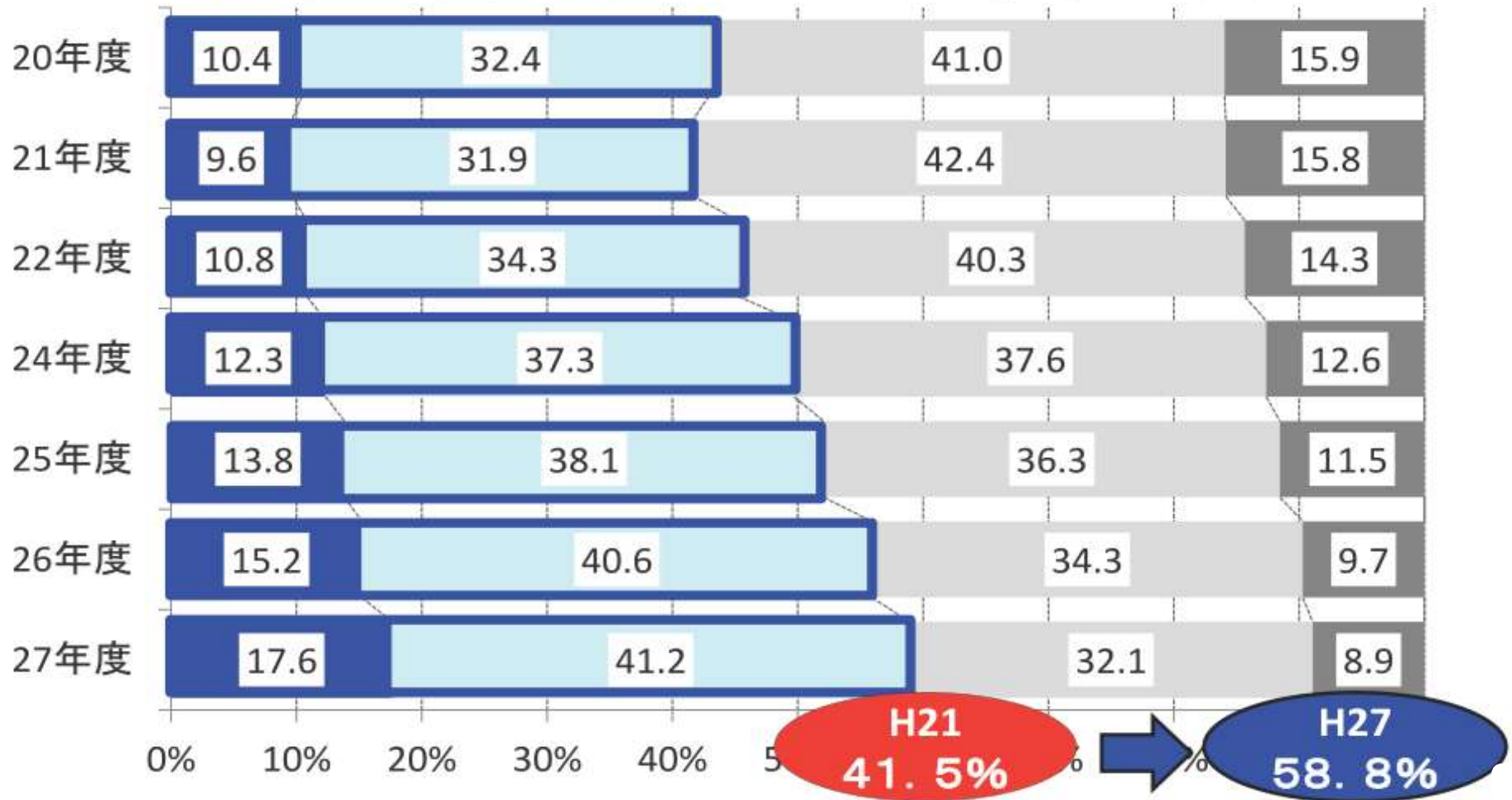
中学国語B 平均正答率と無解答率



全国学力・学習状況調査 生徒質問紙調査結果の推移

国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

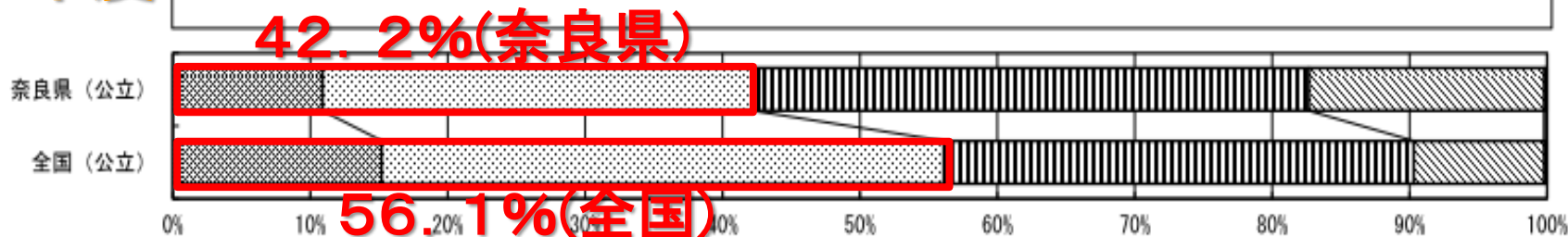


国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

質問番号	質問事項									
(55)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
奈良県(公立)	10.9	31.3	40.4	17.1					0.0	0.2
全国(公立)	15.2	40.9	34.2	9.5					0.0	0.2

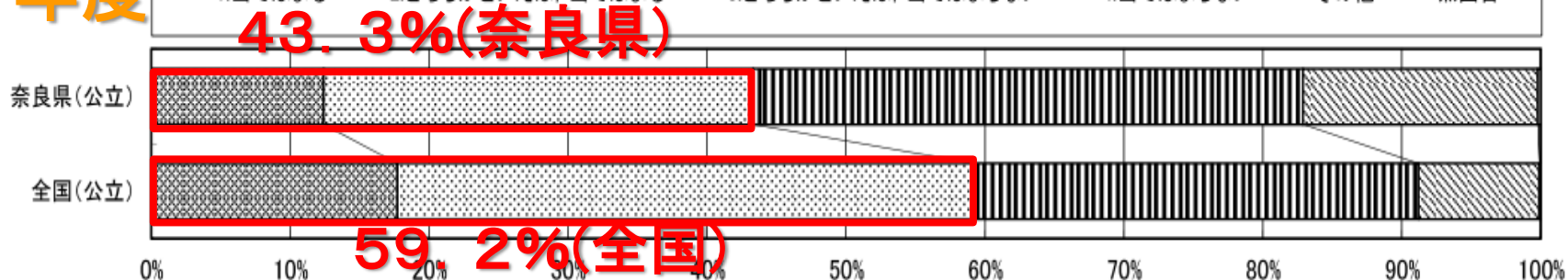
26年度

1. 当てはまる
 2. どちらかといえば、当てはまる
 3. どちらかといえば、当てはまらない
 4. 当てはまらない
 その他
 無回答



27年度

1. 当てはまる
 2. どちらかといえば、当てはまる
 3. どちらかといえば、当てはまらない
 4. 当てはまらない
 その他
 無回答



平成27年度調査で明らかになったこと

平成27年度における主な特徴

- 伝えたい事実や事柄について自分の考えを表してはいるが、**根拠を明確にして書く点に、依然として課題**がある。〔B1三, B3三〕
- 目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出してはいるが、**それらを基にして自分の考えをまとめる点に、依然として課題**がある。〔B2三〕



平成27年度調査で明らかになったこと

- 目的に応じて、資料等から情報を得て、思考・判断し、表現する(課題を解決する)授業

今後の課題

言語活動の質を高める

- ①情報をより正確に理解し、
 - ②より適切に表現する
- 教師が評価し、指導する



①と②は一体的に指導。「表現」するからこそ、正しく読む必然性が生まれる。

課題及び指導改善のポイント①

27A 9 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

単語の類別について理解しているかどうかをみる。
▼「第一学年」伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(エ)

- 1 名詞
- 2 動詞
- 3 形容詞
- 4 形容動詞

解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
9 ①	1	22.8	
	2	9.3	
	3	63.1	◎
	4	3.9	
	9	0.0	
	0	0.9	
	9 ②	1	34.7
2		6.9	
3		21.8	
4		35.6	
9		0.0	
0		1.0	

奈良県
68.2%

奈良県
41.4%

私は伝えたい内容が明確になるように、次のアの文をイの文に変えました。イの文の方が、器の色が特に目を引き付けたことが伝わります。これは「青い」という(①)を、「青さ」という(②)に変えて、主語にしているためです。

ア 大きな青い器が私の目を引き付けた。

イ 大きな器の青さが私の目を引き付けた。

四 次の文章の①と②に当てはまるものとして最も適切なものをそれぞれ一つ選びなさい。

9 次の問いに答えなさい。

課題及び指導改善のポイント①

「青い」という単語のもつ文法的な役割や品詞の名称を理解できていない。

名詞が主語となるなど、それぞれの品詞が文のどのような成分になるかを理解できていない。



- ・単語を正しく類別するには、単に文法的な知識として学習するだけでなく、具体的な文章を通して考えるように指導することが大切。
- ・さらに、各領域の学習の中で単語の類別について意図的に取り上げて、知識の定着を図ることも大切。

課題及び指導改善のポイント①

授業アイデア例

「写真にキャプションを付けよう」 ～単語の類別について理解する～

- ① 修学旅行新聞の記事の写真に付けた〈キャプション案〉A, Bについて、伝わり方や意味の違いを考える。
※ キャプション=写真や図版などに添えられた説明。

〔修学旅行新聞の記事の一部〕



からくり人形を見学

修学旅行新聞

1組

〈キャプション案〉

- A 動く人形にびっくり
B 人形の動きにびっくり



Aは、動く人形があったことにびっくりした感じがするね。



Bは、人形の動き方が予想していたものと違って、いたことにびっくりした感じを受けるね。



教師

キャプションから受ける印象の違いは、「動く」という言葉の使い方にあるようですね。それぞれどのような働きをしているかについて、これまでに学習した品詞の知識を生かして考えてみましょう。

課題及び指導改善のポイント①

授業アイデア例

「写真にキャプションを付けよう」 ～単語の類別について理解する～

- ② 修学旅行新聞の他の記事の写真に、富士山が美しくて感動したことが伝わるようなキャプションを付け、どのキャプションがよいかを話し合う。

〔修学旅行新聞の他の記事〕



車窓からの景色

() に感動

「美しい富士山に感動」はどうか。

「感動」につながる言葉が「富士山」から「美しさ」になることで印象が変わるね。

「富士山の美しさに感動」とした方が、美しくて感動したことがより伝わるのではないかな。

「美しい」は形容詞だけど、語順を変えると「美しさ」という名詞になるね。

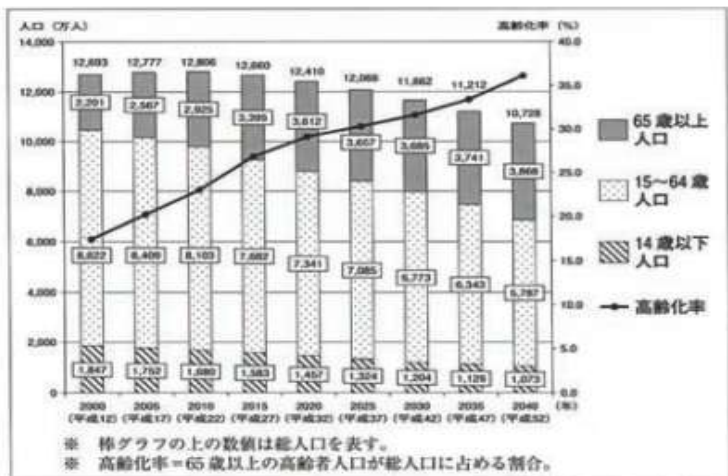
単語の語順などについて検討し、それぞれの単語がどのような働きをしているかについて考えることは、自分の伝えたいことをより効果的に表現することにつながります。

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 交流する際に、キャプションから受ける印象とともに品詞名を確認させることで、単語の類別について理解を促すことができる。
- 「書くこと」の領域の指導の中で、実際に文章を書いて検討させることも効果的である。

課題及び指導改善のポイント②

27B2 情報に関連させて読む(2020年)



(総務省ウェブページによる。)

〔B〕日本の人口推移を表したグラフ

生活を支援するロボットの開発

世界では、様々なロボットの開発が進められている。例えば、人の移動を支援する搭乗型ロボット。このロボットの中には、10年以上前から実用化されているものもあり、空港でのバトロールなどに使われている。

現在、日本では、「生活支援ロボット」の開発が行われている。誰でも簡単に乗り降りでき、日常生活での移動を助ける搭乗型ロボットの開発に加え、装着型ロボットの開発も進んでいる。これは、装着した人の意思を読み取って身体の動きをサポートするロボットである。身体機能の回復のためのリハビリテーションなどで既に一部導入されているが、今後は、足腰の弱った人の歩行支援、重たい荷物の持ち上げ、レスキュー活動など、幅広い場面での活用が期待されている。

このように、人間の生活を支援するロボットの開発が、日夜進められているのだ。



〔C〕雑誌の記事の一部

Discover Tomorrow

～未来(あした)をつかもう～

世界のスポーツ界が急速な変化や様々なチャレンジに直面する中で、東京は「素晴らしい大会を確実に開催し、オリンピックとパラリンピックの価値を次世代に受け継いでいく」ことを訴え、招致の成功を実現することができました。そのメッセージは、世界に約束できる3つの強みによって支えられています。

まず、安心、安全、確実な大会開催。世界有数のインフラやセキュリティを誇る東京の都市力に加え、大会は政府のバックアップを受けて開催されます。数々の国際競技大会開催経験に基づく日本の運営能力も、円滑な大会運営に貢献します。

次に、オリンピック・パラリンピックへの日本の情熱。大都市東京の中心で、多くのファンによって選手に大歓声を送られる大会は、かつて類を見なかったような素晴らしい祝祭となって、世界中の人々を熱狂に駆り立てます。

3つめに、イノベーション。最先端都市東京の中心で、日本のテクノロジーや想像力を結集し革新に満ちた大会を開催することで、オリンピック・パラリンピックのインスピレーションを世界中の若者たちへ届けることができます。

また、招致が決定したブエノスアイレスのIOC総会では、日本のプレゼンターが、東日本大震災以降、日本人があらためて気づいたスポーツの真の力についても訴えました。

震災復興に際して、多くのアスリートたちが被災地に足を運んでいます。活動の中で、子供たちがスポーツを通じて少しずつ笑顔になっていく様子を目の当たりにし、私たちはスポーツやアスリートが社会において果たせる役割についてあらためて気づくことができました。2020年の大会開催に向けて、今度はそのスポーツの力を世界に伝えて、社会におけるスポーツの価値向上に貢献する、それが日本の決意です。

(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ウェブページによる。)

2 次の資料を読んで、あとの問いに答えなさい。
〔A〕ウェブページの文章

課題及び指導改善のポイント②

27B2 情報に関連させて読む(2020年)

三 あなたは、二〇二〇年の日本は、どのような社会になっていると予想しますか。また、その社会にどのような関わっていききたいと思えますか。あなたの考えを、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 資料【A ウェブページの文章】、【B 日本人口推移を表したグラフ】、【C 雑誌の記事の一部】の中からいずれか二つを選び、それらの内容を取り上げて具体的に書くこと。

条件2 「二〇二〇年の日本は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書くこと。

複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。

- ▼[第二学年]B 書くことウ
- ▼[第二学年]C 読むことオ

正答率
23.3%

(解答類型1)

調査を受けた生徒の約52%が
BとCの組合せを選択。

BとC

(二〇二〇年の日本は、)高齢者の人口が増えてきているので、高齢者の体の動きをサポートするロボットや、介護用のロボットなどがたくさん開発されているだろう。私もロボットを開発する仕事に就いて、高齢者の役に立っていききたい。

奈良県
21.6%

課題及び指導改善のポイント②

27B2 情報に関連させて読む(2020年)

(解答類型3) 44・6%

AとB

(二〇二〇年の日本は、)東京オリンピックピックが開催され、世界から多くの人がやって来て、世界とのつながりが広がるすばらしい社会になっていると思う。だけど、少子高齢化で大変な社会だとも思う。

二〇二〇年の社会にどのように関わっていききたいかを書くことができていない。

(解答類型9) 25・8%

AとC

(二〇二〇年の日本は、)明るくてとてもよい国になっていると思います。今、皆がやっていることが、日本を支えていると思うし、夢が夢のまま終わらないように頑張っている活動している人がたくさんいるからです。私も頑張っている関わっていききたいと思います。

資料の内容を適切に取り上げて書くことができていない。また、二〇二〇年の日本がどのような社会になっているかを具体的に書くことや、社会にどのように関わっていききたいかを具体的に書くことができていない。

課題及び指導改善のポイント②

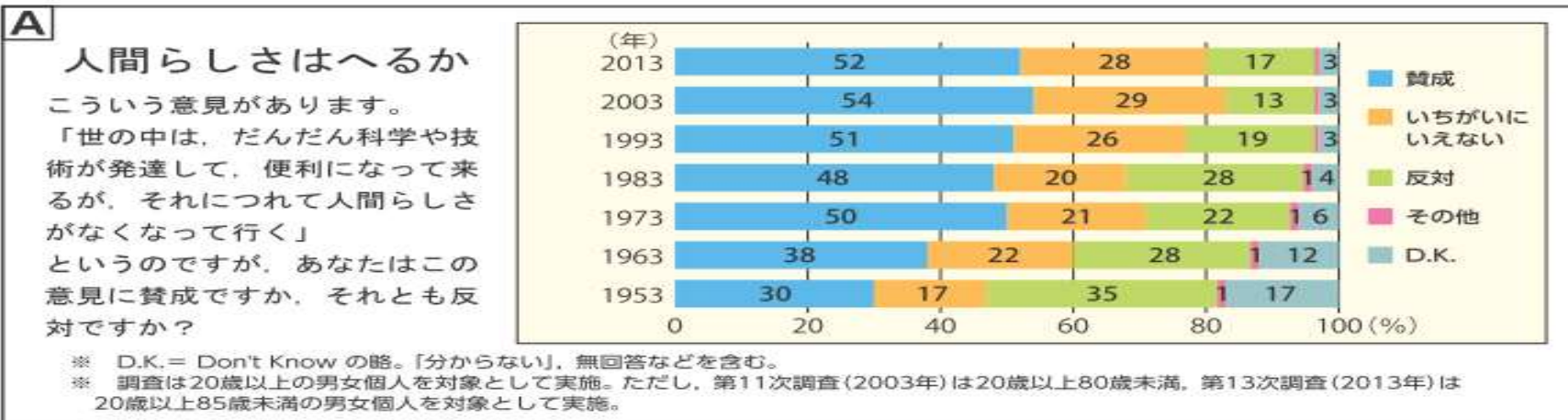
多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりすることに課題。特に、社会にどのように関わっていきたいかについて、自分の考えを書くことに課題。



- ・複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えることが重要。
- ・また、自分の考えを深めたり広げたりするためには、学校図書館やインターネットなどを利用し、主体的に情報を探すことも必要。

課題及び指導改善のポイント②

授業アイデア例



B 工場育ちのレタス？
 農業技術の最先端

2014年5月8日
 今、農業でのIT (information technology 情報技術) の活用が世界中で注目されている。例えば、九州と同程度の土地面積のオランダは、コスト管理や栽培環境の制御にITを活用することなどで、農業輸出額が世界第2位の農業大国へと成長した。

日本でも、農業へのITの導入に注目が集まっている。例えば、ITを活用し、温度や光などを最適な状態に保った上で、収穫、出荷の調整までを一貫して行う植物工場がある。レタスを栽培しているある植物工場では、無菌室を室温22度、1日約12時間光を当てるように制御している。作業員は全身を十分に洗浄し、無菌状態で作業に当たる。工場育ちのレタスは、普通よりも少し早い45日程度で出荷される。植物工場では、天候や季節に左右されず、安定した生産が可能になる。また、クリーンな栽培環境で生育した野菜は長持ちする。農業を使う必要もないので、安全性にも優れている。

このほかにも、人工衛星を活用した作物の管理や農業用ロボットの開発や実用化が進められている。

世界的な人口増加の中で、ITを活用した農業はこれからの食料生産を支えていくことになりそうだ。

C 全国新聞
 2013年(平成25年)6月24日(月曜日)

22日、カリブ海の深海5000メートルからの生中継が実現した。調査潜航する「しんかい6500」に光ファイバーケーブルをつなぎ、通信衛星を介してインターネットにより全世界に深海調査のリアルタイム映像を配信した。深海から調査の様を生中継する試みは世界初。海底(深さ5000メートル)に至るまでの経過や、熱水噴出孔から黒い熱水が吹き出る様子、その周辺に生息するエビなどの生き物の撮影・配信に成功した。調査に当たって「しんかい6500」には、研究者やパイロットなど3名が搭乗した。

映像を配信した番組ページは、リアルタイムで延べ30万人以上が視聴し、冒険家気分を味わった視聴者から「夢のようだ」、「リアルタイムで見られたことに感動」などのコメントが寄せられた。

「しんかい6500」6500メートルの深さまで潜ることが出来る有人潜水調査船。1989年に完成し、日本近海に限らず、太平洋、大西洋、インド洋などで、海底の地形や地質、深海生物などの調査を行い、2012年には通算1300回目の潜航を達成した。

世界初！夢の映像
 深海からの生中継に成功

課題及び指導改善のポイント②

授業 アイデア例

「社会の中にある情報を自分と結びつけて考える」
～複数の資料から情報を得て、自分の考えを具体的に書く～

授業前の教師の準備

B②三についての生徒の解答の状況を「解答類型」（平成27年度 報告書 中学校 国語）に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

● 「解答類型3」の生徒

予想した2020年の社会に自分がどのように関わりたいかを具体的に書くことができていない。

第1時

① **A**、**B**、**C**の資料を読み、二つ以上の資料の情報を関連させて考えたことや疑問に思ったことなどをノートに書く。

② ①で書いたノートを基に、どのような情報を関連させてどのように考えたのかを交流し、自分の考えを広げる。

6500メートルの深さまで潜ることができる有人潜水調査船があることに驚いたけれど、工場育ちのレタスがあることも驚いた。科学や技術の発達によって、今まで想像もしていなかったことが、どんどん現実になってきているのだね。



Aのグラフを見ると、科学や技術が発達することで人間らしさがなくなっていくのではないかと考えている人が多いね。でも、**B**に書かれているような植物工場野菜が作られることで私たちの食生活が豊かになるのだとしたら、一概にそうとは言えないな。

Cの記事にあるように、家に居ながら深海などの映像を見ることができるようなのはすばらしいね。でも、色々なことを自分で体験せずに、映像だけで満足するようになると、**A**にある「人間らしさ」が減ることにつながるのかもしれないな。

③ 交流した内容を踏まえ、新たに考えたことや疑問に思ったことなどをノートに書き加える。

第2時

科学や技術が発達することで、私たちの暮らしはどのように変わっていくと考えますか。また、あなたはどのように暮らしていきたいと考えますか。**A**、**B**、**C**の中の二つ以上の資料から必要な情報を取り出し、それらを関連させながら自分の考えを具体的に書いてみましょう。



教師

④ 第1時に書いたノートを参考にしながら、提示された課題についての自分の考えを書く。

⑤ 必要に応じて、学校図書館やインターネットなどを利用して、自分の考えを補足するための資料を収集する。

課題及び指導改善のポイント②

授業 アイデア例

「社会の中にある情報を自分と結びつけて考える」
～複数の資料から情報を得て、自分の考えを具体的に書く～

第3時

- ⑥ 第2時に書いた文章を互いに読んで、二つ以上の資料から取り出した情報を関連させながら、自分の考えを具体的に書いているかどうかという観点で助言し合い、それを基に書き直す。



自分がどのように暮らしていきたいのかも書き足したらどうかな。

【書き直した文章の例】

Ⓐのグラフを見ると、「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」という意見に反対している回答者が1993年以降は2割未満ですが、私もこの意見に反対です。なぜなら、ⒷのようにITを活用した植物工場があれば、いつでも新鮮な野菜が食べられて、人間らしく健康的に暮らすことができると思うからです。自分で調べてみたら、サラダ菜などの野菜を育てている植物工場もあることが分かりました。私は、科学や技術が発達することで、今以上に食生活が充実して大勢の人が生き生きと暮らすことができるようになると思います。~~だから、科学や技術の発達による暮らしの変化はよいと思います。~~私は、今後、レタスなどの工場育ちの野菜を積極的に購入して食べてみたいと思います。また、友人にも試してみるように勧めるなど、科学や技術の発達による食生活の変化を楽しんで暮らしたいと思います。

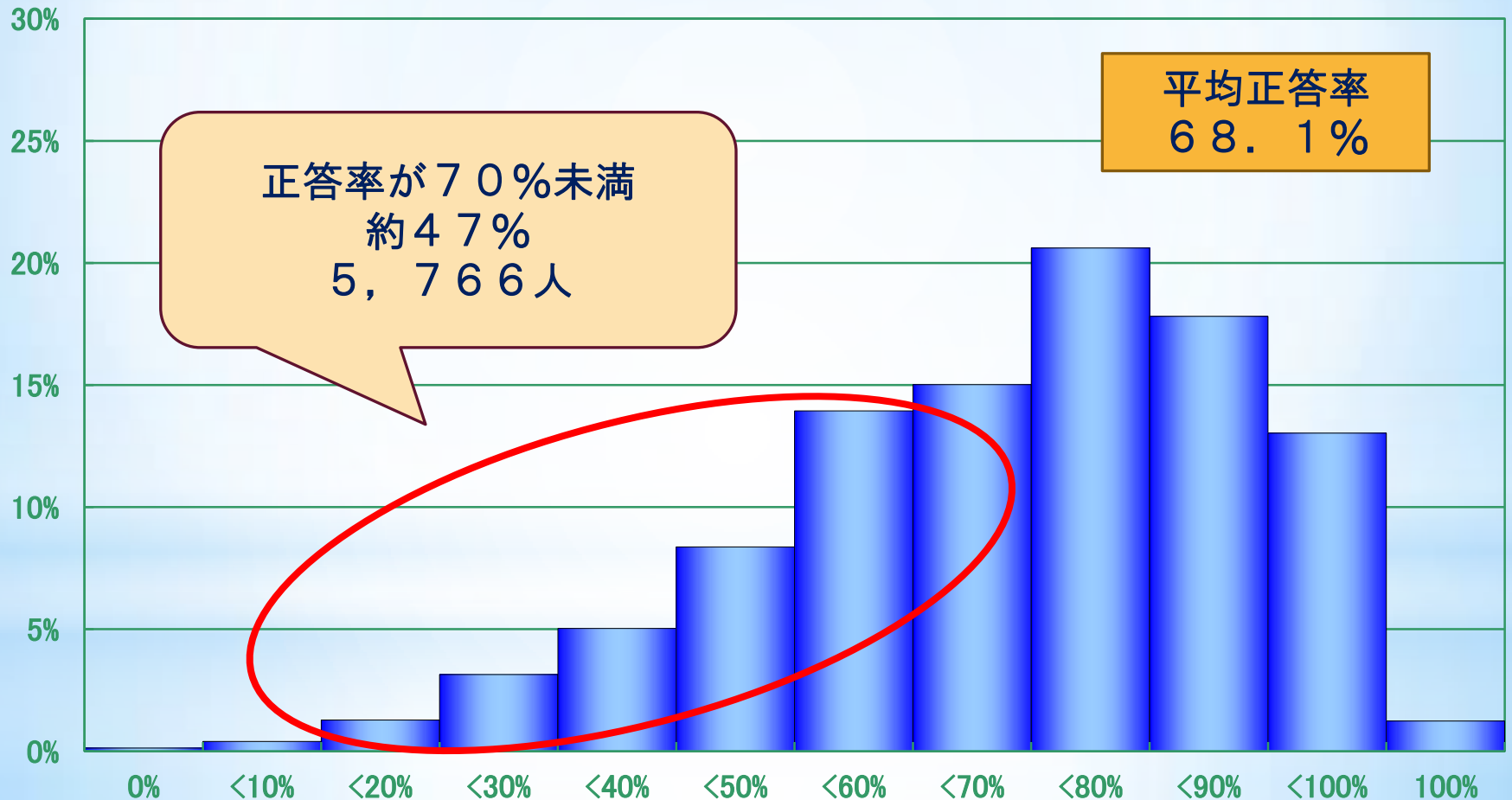
第2時及び第3時終了後の教師の分析

第2時及び第3時終了後に、書いた文章を分析する。
特に、授業前に把握した「解答類型3」に該当する生徒が、次のような内容を記述することができているかどうかを見る。

- 「どのように暮らしていきたいか」について、「どのように」を具体化して自分の考えを書いている。
- 第2時終了後に不十分だった生徒については、第3時の交流の様子を観察し、必要に応じて支援する。

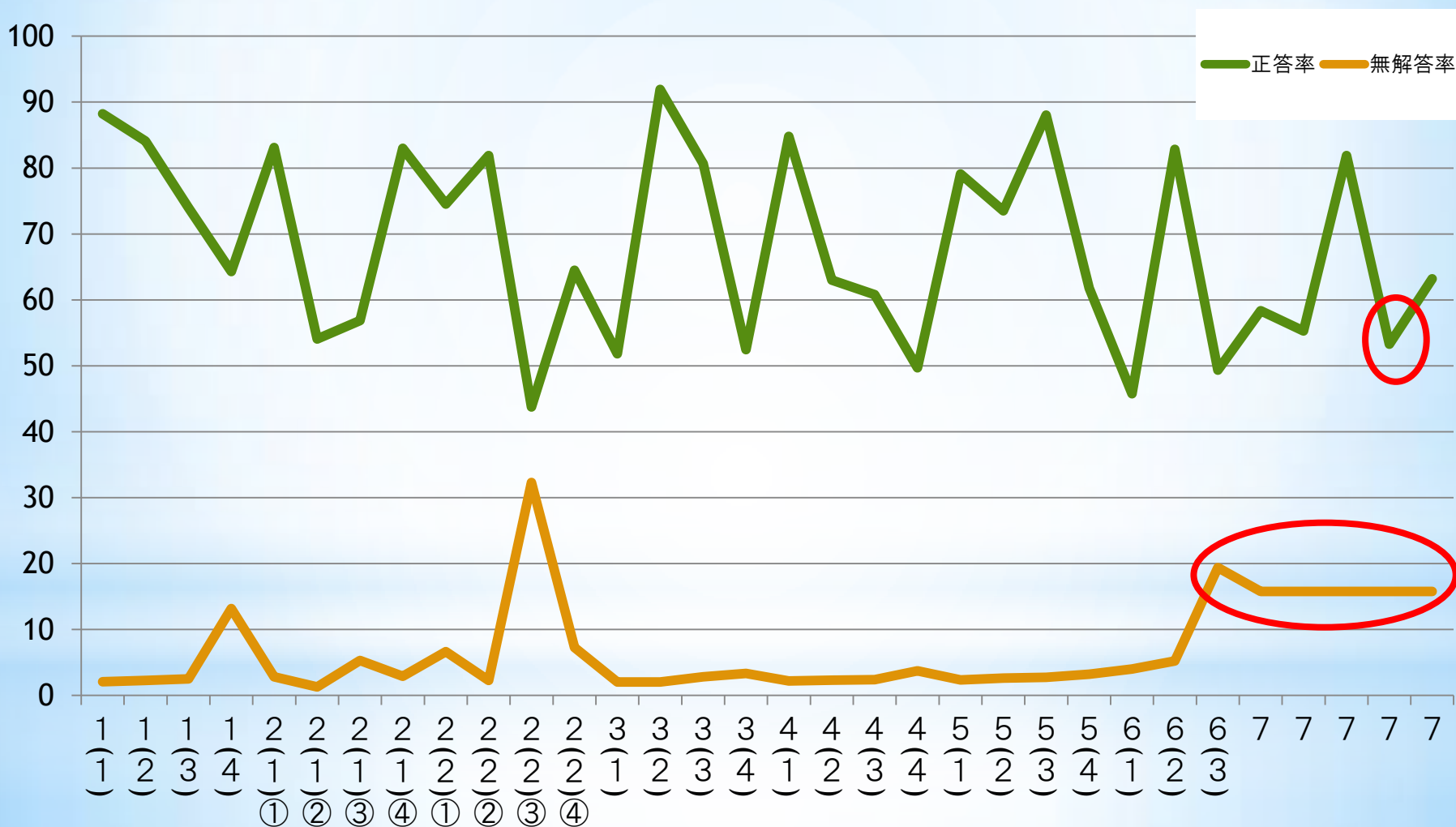
奈良県学力・学習状況調査結果

中学校1年 正答率度数分布

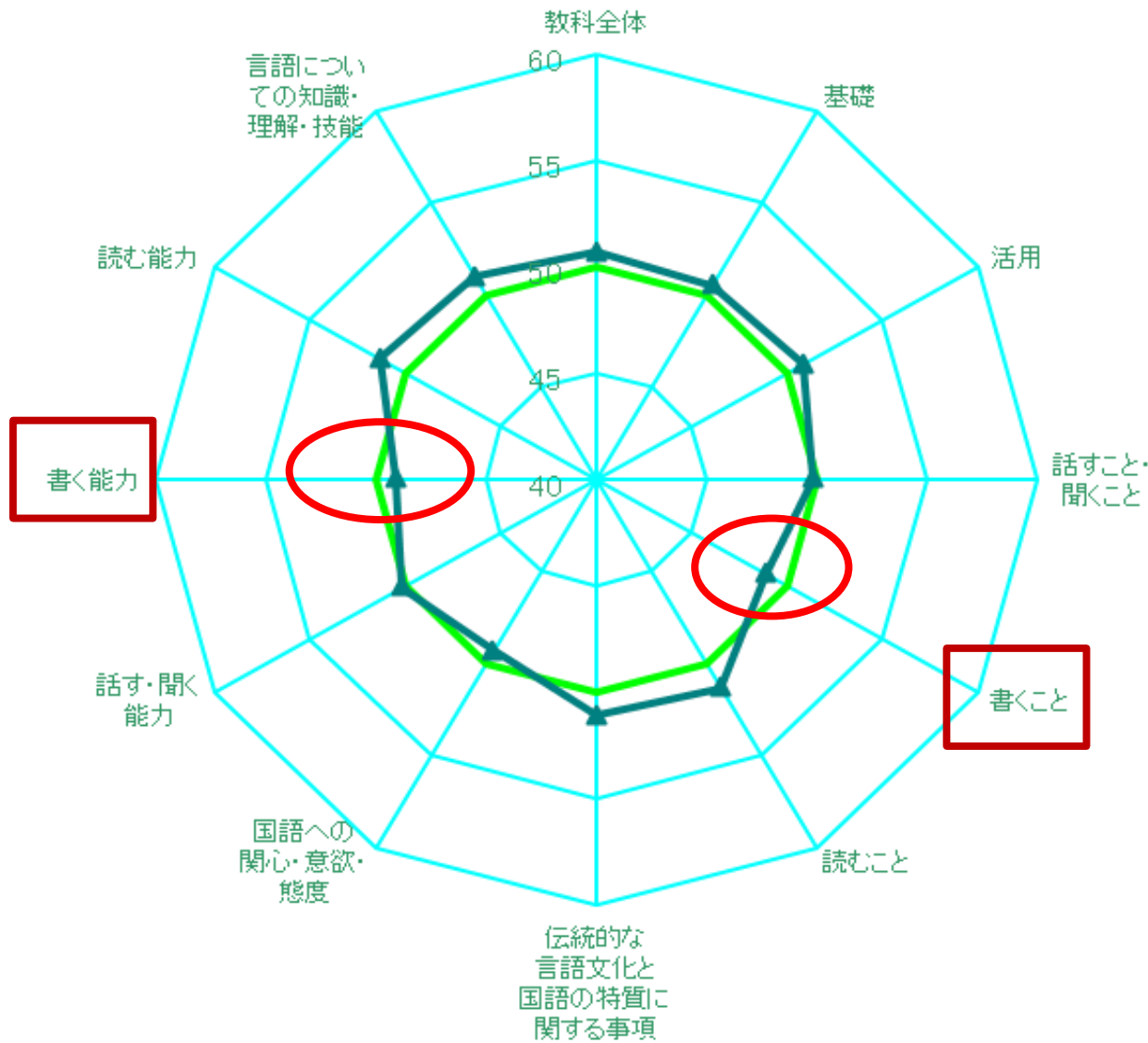


奈良県学力・学習状況調査結果

中学1年 平均正答率と無解答率



奈良県学力・学習状況調査結果



中学1年
国語

課題及び指導改善のポイント

7

矢島さんと野村さんが、旅行についてお互いの意見を出し合いました。次は、二人の意見をそれぞれまとめたものです。これを読んで、下の〈注意する点〉に従って、あなたの考えを書きなさい。

28 29 30 31 32

矢島

旅行に行くときは、行き先の名所や名物などについて調べて、一日の日程を全部決めてから行くのがよい。そうすれば、時間のむだがなく行動でき、見たいものが見られたり、体験したいことができたりするからだ。

野村

旅行に行くときに事前に調べておくのは、目的地までの行き方だけでよい。いくら調べてもすべての情報が得られるわけではないし、事前に写真などを見てしまうと、実際に目にしたときの感動が薄くなるからだ。

〈注意する点〉

- ① 三段落構成とすること。
- ② 第一段落に、矢島さんと野村さんの、どちらの意見に賛成か、「あなたの立場」を書くこと。
- ③ 第二段落に、その立場を取った「理由」を、自分の体験（見たことや聞いたことなども含む）を具体的に記入して書くこと。
- ④ 第三段落には、「まとめ」を書くこと。
- ⑤ 八行以上、九行以内（二四一字以上、一八〇字以内）で書くこと。
- ⑥ 題名や氏名は書かず、原稿用紙の使い方や、誤字・脱字に注意して書くこと。

課題及び指導改善のポイント

授業 アイデア例

「説明的な文章を読んで、質問に答えよう」
～本や文章から適切な情報を得て、考えをまとめる～

～資料から適切な情報を得て、回答する文章を書こう～

年 組 番 氏名 ()

質問 「マグロの刺身は、タイの刺身に比べて、色が赤いのはなぜか」

○ 回答を得るために必要だと思われる部分に線を引きながら、二つの資料を読みましょう。

【資料①】料理の本のコラム

魚の刺身は赤身と白身があります。赤身の赤い色は、筋肉に含まれるミオグロビンの量に左右されます。ミオグロビンは、筋肉を動かすために必要な酸素を貯蔵しています。このミオグロビンが赤いので、これを多く含む筋肉は色が赤くなります。

赤身魚は、こってりとしたうまみのあるのが特徴です。白身魚は、あっさりとした淡白な味が特徴です。

赤身、白身にかかわらず、魚にはそれぞれ体の調子をよくする各種ビタミン・ミネラルなどたくさんの種類の栄養があるので、いろいろな種類の魚をバランスよく食べましょう。



【資料②】魚の事典の一部

マグロやカツオなどは、群れを作り、広い海域を常に泳ぎ続けながら回遊しています。これに対して、タイやヒラメなどは、ふだんは余り泳ぎ回らず、獲物を捕ったり天敵から逃げたりするときに素早く動きます。

広い海域を長時間回遊する魚は「遅筋」という筋肉が発達し、素早い動きをする魚は「速筋」という筋肉が発達します。「遅筋」にはミオグロビンというタンパク質がより多く含まれており、このタンパク質が酸素を筋肉に供給しています。

課題及び指導改善のポイント

授業 アイデア例

「説明的な文章を読んで、質問に答えよう」
～本や文章から適切な情報を得て、考えをまとめる～

○ 回答を書きましょう。

【最初に考えた回答】

○ 友達と読み合い、気付いたことを伝え合いましょう。

友達のアドバイスを書き留めましょう



○ 最終的な回答を書きましょう。

【最終的な回答】

国語の授業のチェックポイント

1. 学力の状況の把握

全国学力・学習状況
調査などを活用

2. 付けたい力の明確化

3. 単元の構想〈言語活動〉

授業アイデア
例などを活用

4. 評価規準の設定

5. 学習評価（授業後）＝1へ

学習指導要領の理解

国語の授業のチェックポイント例

0. 年間の指導と評価の計画が作成されていますか？
 1. 付けたい力は明確になっていますか？
 - ・学習指導要領の指導事項が明確に位置付いていることが必要
 2. 付けたい力と関連させた教材研究がなされていますか？
 3. 付けたい力について効果的に指導するための言語活動例が設定されていますか？
 - ・言語活動を通して指導することにより、
 - 付けたい力が効果的に身に付く
 - 生徒が学習に一層興味をもつ
 - 生徒が学習の見通しをもち、主体的に取り組む
 - 実生活で生きて働き、各教科等の学習の基本となる国語の能力が身に付く
- ※言語活動についての教材研究も必要



国語の授業のチェックポイント例

4. 指導の系統性が意識されていますか？
- ・既習の内容を想起させ、使わせることが大切
 - ・他領域の学習内容との関連を図ることも大切
(例：話し合うことの学習→読むことの学習)
5. 学習評価の進め方が明確になっていますか？
- ①評価規準・・・付けたい力に対応して焦点化を図る
 - ②評価場面・・・いつ評価するのかを明確にする
 - ③評価方法・・・どんな方法で評価するのかを明確にする
 - ④努力を要する状況の生徒への手立て
6. (特に読むことの指導において)読書に広がる学習になっていますか？
- ・日常的な読書活動と国語の授業を関連付けることが大切





全校体制で取り組む10のポイント

- 1 全職員で調査問題の趣旨(メッセージ)を確認する。
 - ① まずは、問題を教師自身が解くことから始める。
 - ② どのように思考・判断し、どんな記述の力が必要かを体感する。
- 2 全職員で調査問題の結果を分析し、課題の所在を話し合う。
 - ③ 子どもたちの弱点を知ることが大切にする。(特に「4年間のまとめ」の活用)
 - ④ 誤答傾向や不十分な解答に指導改善のヒントを得る。
- 3 全学年を通じて、年間の見通しの中で課題を解決する。
 - ⑤ 調査問題を教科書教材と関連付ける。
 - ⑥ 自校の年間指導計画(例:備考)の中に課題を明記(朱書き)する。
 - ⑦ 上記⑤・⑥と同時に授業で活用できる資料を明記する。
- 4 調査問題や調査結果を活用した授業を構想する。
 - ⑧ B問題の設計や構成そのものを授業づくりのヒントにする。
(特に条件に即した記述への手立て～三領域における記述力の重視)
 - ⑨ 授業アイデア例BOXを授業づくりのヒントにする。
- 5 学習指導要領国語の目標や内容の実現を第一義とする。
 - ⑩ 「言語活動を通して指導事項を指導する」という基本方針を踏まえる。